

広島テレビ×読売中高生新聞 平和教育取材(日本史ゼミ)

4年3組 松本 百々花

1. 活動時期

: 2023.4/9,15,16

2. 参加のきっかけ

: 中学3年生の時に、一年を通して歴史ゼミに参加していて戦争について(第二次世界大戦)学んでいたこと。また長崎での修学旅行時に被爆者の方の話を初めて聴き講話後に感謝と決意を述べていた事を先生が覚えて頂いたことで推薦してくれたこと。



3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

まずアメリカ人の方や外国の方が広島でピースガイドをされていることを知りとても驚きました。ガイドというと日本人の印象がどうしても強かったのですが、被害者という意識がどうしても強くなってしまふ日本人とは違う視点のガイドも重要だと感じました。グローバル化が進む社会ではこのような活動はとても重要になっていくのではないかと思います。また事前授業で、今まで漠然と考えていた核について議論しながらメンバーと考えることができました。

広島を初めて訪れてみて何時もテレビの中で見ると目の当たりにしてとても身近に戦争を感じることができました。原爆資料館で一人一人のストーリーに注目して原爆を考えることで他人事ではなく時代が少し違うだけで誰にでも起こりうる自分事だと強く感じました。また被爆者の方のお話を2:1で聴くことでとても濃く、お話を聞くことができたと思います。

②活動中の面白かったポイント

何時もお好み焼きを食べておいしいと感じることはあるが戦争後の様々な人々の工夫と知恵のおかげでその美味しさがあるということを知れました。原爆は辛い事実ですが暗さだけでなく復興への希望、人々の逞しさがそこにはあったことを改めて認識できました。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

: 同じ企画に参加することはもうできませんが歴史ゼミに参加したりや広島を訪れたりすることで、1人でも多くの人に戦争、原爆そして守るべき平和を考えてほしいです！